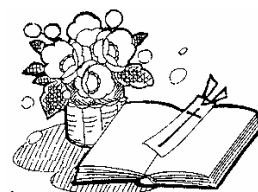


## ディボーション質問表



### 6日（月）ローマ人への手紙 3：9～20節 すべての人の罪

1. この箇所は、1：18～3：20までで言われている内容のまとめの部分です。パウロは、ユダヤ人（私たち）は異邦人（他の者）にまさっていないと言っています（9節）。そして「すべての人が罪の下にある」（9節）その証拠を10～18節で語っています。パウロは証拠としてどのような事を挙げているのでしょうか？
2. 律法が与えられている目的は何だと言われていますか（19～20節）？

### 7日（火）ローマ人への手紙 3：21～31節 信仰による義

1. 21節からの内容は、1：17節で言われた「神の義」についての説明です。神の義はどのようにしたら、受ける事が出来ると言われていますか？ また誰に与えられるものだと言っていますか？ 何の差別もありません（22節）とはどういう意味でしょうか？
2. キリストはなだめの供え物（25節）となられたとありますが、なだめの供え物とは何であり、なぜ必要であり、なぜ公に示される必要があったのでしょうか？ 「なだめの供え物」と訳されている言葉は、ヘブル9：5節では「贖罪蓋」と訳されています。

### 8日（水）ローマ人への手紙 4：1～25節 アブラハムにおける信仰義認

アブラハムが自分に割礼を施して、完全に律法を行なったことによって義人化されたとしているユダヤ人がいます。この間違っただけの信念をパウロはどのように修正したかを見つけてみましょう。

1. アブラハムはどのようにして神の前で義と認められたのでしょうか（1～3節）。なぜそう言えるのでしょうか（4～8節）？ いつアブラハムは義と見なされたと言っていますか（9～11節前半）？ アブラハムはだれの父と言われているのでしょうか（11節後半～18節）？
2. アブラハムの信仰はどのようなものだったのでしょうか（19～21節）？ また、「それが彼の義とみなされた」（22節）とありますが、どういう事でしょうか？ これ（すばらしい信仰）はアブラハムだけに適用されることでしょうか？ この信仰の原則はだれに適用されると言われていますか（23～25節）？

### 9日（木）ローマ人への手紙 5：1～11節 信仰による義の祝福

1. 信仰によって義と認められる結果として得る事ができる7つの事柄を挙げてみましょう（1～5節）。
2. キリストは誰のために、いつ死んでくださったと言われているのでしょうか？ そして、その事を通して何を明らかにしてくださっているのでしょうか（6～8節）？
3. 義と認められた私たちに今与えられているのは、どのような事だと言っていますか（9～11節）？

### 10日（金）ローマ人への手紙 5：12～21節 信仰による義の転嫁

この箇所は、アダムの行ない（12～14節）、キリストの行ない（15～17節）、適用（18～21節）というように分類することが出来ます。

1. どのようにして罪が、死がはいり、広がったと説明されているのでしょうか？ 死が入って来たのは律法が与えられる前でしょうか？ 後でしょうか？ この事から、死が律法に対する違反の結果であるのかどうかを考えてみましょう（12～14節）。
2. キリストによって与えられるものはどのようなものなのでしょうか？ またさばきの場合とは違う点はどのようなことでしょうか（15～17節）？

### 11日（土）ローマ人への手紙 3：21～5：21節 義認のまとめ

1. 3：21～5：21節までを読み返してみましょう。この部分は、どのようにして神の義を人間が受け取る事が出来るかについて書かれている箇所です。
2. 時間がとれるようでしたら、1：18～3：20節のところも読み返してみましょう。この箇所は、3：21～5：21節で言われている神の義の前提となっている部分で、すべての人が罪人である事を指摘している内容です。人が神の義を求めるときには、自分の罪を自覚する事（認罪）が必要です。